

第6回琴浦町地方創生推進会議（結果）

日時：平成27年9月15日（火）19:00～21:00
場所：本庁舎 防災会議室

1. 参加者	委員 22 人、事務局 4 人
2. 欠席者	井東委員、御古委員、桑本委員
3. 内容	<p>●会長 ○委員 →事務局</p> <p>1 琴浦町地方創生推進会議の位置付けについて → 事務局から説明</p> <p>2 琴浦町人口ビジョン（案）及び琴浦町まち・ひと・しごと総合戦略（案）について → 事務局から説明</p> <p>○ 別紙2の概要に琴浦町の概要があるが、産業指数が低下しているという課題がある。販売農家数や工業出荷額が減少しつつあるということは解決すべき課題として挙げたほうがいいのではないか。 → 琴浦町の課題として盛り込む。</p> <p>○ 別紙2にある農商工という単語の「農」は農業のみを指すか。それとも農林水産業を指すか。 → 農林水産業を指している。</p> <p>○ 別紙2において、「弱さ」ではなく、克服すべき課題というような前向きな単語を使ってほしい。 → 表現について修正する。</p> <p>○ 「コトウラで育む」のテーマで様々な事業があがっているが、子どもに対してのひとづくり、教育が書かれていない。例えば認知症予防に関する学習を通し思いやりを学ぶことも重要であると思う。総合戦略の中に子どもの心の教育、ひとづくりについて入れることはできないか。 → 総合戦略の中では、P12に子どもの心の教育があるほか、P22に子どもに限らずすべての町民に対して人権教育などを推進している。</p> <p>● いま現在は学校教育の中で取り組みは行われていることであると思う。</p> <p>○ 子どもたちが思いやりをもてるような学校教育を推進してはどうかと考えている。 → 言われていることは、この戦略の中に盛り込みたいことではあるが、言葉で表現が難しいため記載していない。 戦略の P19 にふるさと創生塾という事業があるが、その中で子どもに対して学校外での教育に取り組みたいと考えているところである。</p> <p>○ 子育てに関するアンケート結果が成果目標になっているが、以前とったアンケートの結果に基づき、半数の人が満足していないところを改善するような事業となっているか。 また、戦略概要版の特色（強み）に特色ある教育とあるが、何が特色あるのか。 → 特色ある教育は、脳活やスキルアップ学習を指している。 子育て支援策については、各地区で行った意見交換会や、保護者との意見交換会でいただいた意見もふまえて具体的事業の検討をおこなった。現在の満足度は、53%が満足、約10%が満足していない、どちらでもないが33%、未回答が4%という結果をもとに KPI の数字を設定している。</p>

- 重点項目の目標がテーマの目標にあがっていないものがみられるが、全部あがるということではないのか。
- 各テーマ、各重点項目における成果目標であり、一致していないものもある。
- 25歳時点における町内定着率は、25歳時点で東伯・赤碕中学校卒業生が琴浦町に住んでいる割合のことか。
- そのとおりである。
- 目標を達成するために具体的事業があがっているが、名称だけ記載されているため、簡単な事業内容も記載してもらおうとイメージがしやすいので検討してほしい。
- 検討する。
- 子育て世代の経済的支援の中で出生数があるが、これは基準年の数字を5倍したものか。
- 人口ビジョンに将来の目標人口が記載してあり、その推計における出生数を目標としている。基準年を5倍した数より少し多くなっていることから、現状より多少出生数を増やす目標としている。
- 成果について指標をたてられているが、その成果目標が、単年のものか5年間のものかわかりづらいので、わかりやすく明記したほうが良い。
- 成果目標に記載する。
- KPIの設定について、手段としての事業の成果ではなく、事業をおこなった結果どういった成果を求めるかが成果目標としたほうが良い。
- 再度検討を行う。
- コトウラで創るというテーマがあり、農林水産業の振興があがっているが、水産業について具体的な施策がないので、再度検討していただきたい。
- 水産及び林業について記載する。
- 事業を行うにあたり、財源のことはどうなっていくか。また、国が示すビッグデータをもとに目標値が設定されているか。
PDCA サイクルにより事業の検証が求められるが、行政のみで行うのか、それとも外部の人を交えて行うのか。014438
- 地方創生の財源として、来年度新たな交付金が国で検討されているが、これは従来の補助金や交付金制度と同じく、町が事業を申請して国が承認する形で交付される。もうひとつ特別交付税という財源措置があり、地方創生関係の事業を実施することで、国から交付されるものがある。
KPIの設定に当たってはデータが少ない等の理由でビッグデータはあまり活用していない。目標数値の設定には単独で確認できる数字の方が管理しやすいと考えている。
PDCA サイクルの評価については、この推進会議のような外部機関を活用することとしている。数値目標が達成はもちろんだが、なぜ達成できなかったのかもあわせて検討していただくことを考えている。
- 荒廃農地は、耕作できるまで時間や手間がかかるため、新規就農者が利用するのは難しいと思う。
3haのハウスがあれば新規就農者が増えるので、ハード整備も検討していただきたい。
子どもたちに対して、家を守る、家族を大切にするというような家族愛を教育するような機会を設けてほしい。
- 戦略P8の基本テーマ成果目標で地域課題解決のための活動数が150回とあるが、この根拠は何か。
- 戦略P19に、重点目標として協働によるまちづくりを掲げており、その中で、地域活動団体によるものが20回、自治会によるものが130集落を目標としており、その合計回数をこの基本テーマの成果目標としている。

	<p>○ この戦略の琴浦町らしさとは何か。それは戦略には記載しないのか。 → 前回の推進会議で、各課において目玉事業として取り上げたものが琴浦町らしさであると考えている。現段階では、戦略に琴浦町らしさとしての記載はしていない。</p> <p>○ 半農半xの「x」の部分は具体的な企業を想定しているのか。 → 「x」の部分は各個人によって様々であり、ある特定の企業に絞って推進するのではなく、I J Uターン者の生活基盤を構築していくなかで半農半xの仕組みを推進していくこととしている。</p> <p>○ 移住定住策において、農林水産課と商工観光課の連携が取れていない部分があるので、密にとっていただきたい。また、光の鰻絵の伝承者などを育成するようなことに取り組んでほしい。 この会議について、資料の説明に時間をとられてしまうので、事前に送付していただきたい。</p> <p>3 今後のスケジュールについて → 今回の会議で説明したものを原案として、9月19日ころからパブリックコメントを実施したいと考えている。パブリックコメントを加え修正したものを10月中旬に開催する予定の推進会議で再度検討していただきたいと考えている。</p>
	<p>次回は、10月13日（火）午後7時から</p>